

令和元年（2019年）12月 日

茅野市長 今井 敦 様

茅野市総合計画審議会
会 長 矢崎 敏臣

第 5 次茅野市総合計画基本構想の進捗等について（答申）（案）

令和元年 10 月 30 日付け元企財第 92 号で諮問のありました掲題について、慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

基本構想の進捗管理では、政策分野ごとに国や県の動向を見ながら課題が整理され、関連市民団体の意見も含めた今後の方向性が検討されていました。今後も市民や民間団体と協働したまちづくりを実施し、「八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす やさしさと活力あるまち」の実現に向けた取組みを進めてください。

なお、基本構想の今後の推進にあっては、緊急度の高い課題に優先的に対応するため、下記の事項に留意してください。

- 1 茅野市はこれまでのまちづくりの成果が現れ、人口の社会増が続いているものの、人口減少・少子高齢化は今後も継続し、地域社会や企業の担い手不足が深刻化していく事が見込まれます。若い世代の意見を取り入れた子育て環境の充実や女性が活躍する環境整備等を進め、子育て世代に移住先として選ばれ、また市内の若者が安心して妊娠・出産・子育てできるまちづくりに努めてください。

また、茅野市には、年間 300 万人を超える誘客を誇る観光地や、全国有数の別荘地、製造業を中心とした企業が多数あるなど、人が行き来する流れがあります。将来的な定住人口の増加を見据え、交流人口・関係人口の増加に

向けた取組に努めてください。

- 茅野市に住む人にとって、また、茅野市に移住しようとする人にとって、茅野市が温かく、開かれたまちであることは、茅野市に暮らし続けようと思える大きな要素です。

区や自治会といった地域コミュニティにおける、お隣同士の顔が見える関係づくりの実現に向けて、積極的なサポートをしてください。

- 市民が主体的にまちづくりに参加することによって、茅野市への愛着心や、茅野市に住み続けたいと思う気持ちが醸成されます。市民と市との情報共有を進めるとともに、特に未来を担う若者の意見をこれからのまちづくりに反映させるなど、「みんなでつくるみんなの茅野市」に向けた取組に努めてください。

また、これまでパートナーシップのまちづくりで築き上げてきた、子育て支援施策や、環境、地域における支えあいといった茅野市の強みを更に磨き上げ、市内外に積極的に PR してください。

- 茅野市は製造業をはじめ、豊かな自然に恵まれた観光業など、各産業がバランスよく成長し、まちの発展に寄与してきました。今後もより一層この強みを活かすことができるように、産（企業）・学（公立諏訪東京理科大学）・官（行政）・金（金融機関）などあらゆる主体の連携により相乗効果を高める仕組みを構築する事や、働く場所として茅野市が選ばれるための取組等を通じて、これからも、経済的に豊かな街に発展するよう努めてください。

- 近年の自然災害は、これまでの防災の取組では対応しきれない規模となっています。災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」、「共助」、「公助」の取組をさらに進めることが必要です。

災害危険箇所の調査や、インフラ施設の整備といった総合的な防災対策を進めるとともに、地域における自主防災組織活動の活性化や、地域間連携といった「自助」、「共助」の取組に向けた支援を進めてください。

災害発生時には、行政と地域との情報共有に努めてください。